

原発からの早期撤退を求める
岩手県学識者の会

結成記念講演会

放射線の人体影響と 原子カムラの問題

——核兵器も原発もない世界をめざして——



名古屋大学名誉教授

沢田 昭二 さん

- 日時 2月3日(日) 午後2時～4時
(4時から総会を開きます)
- 会場 県水産会館 盛岡市内丸16-1
☎019-623-8141

参加費:500円(会場費、資料代など)

県内の大学教員・医師・弁護士等の有志は「原発からの早期撤退」と「自然エネルギーへの政策転換」を柱とする県民への「アピール」を発表してきました。

しかし、政権の交代を含め、今日の原発問題をめぐる動きはこれまでの活動に止まらず、粘り強い取り組みと一層の運動の拡がりを求めていると思います。私達は「原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会」を結成し、専門性を活かした学習・理論活動、県民・国民世論の喚起、原発をなくす諸運動の後押し・共同に努めます。

沢田昭二講演会は、この会の結成を記念して開かれます。誰でも参加自由です。

放射線の人体影響(内部被爆、晩発性障害の深刻さ)、基準と防護体制に潜む問題(第2原子カムラ、国際原子カムラ)、そして原発も核兵器もない社会への展望など、講師自身の体験と研究も交え語っていただきます。

講師プロフィール

1931年、広島市生まれ。13歳のとき爆心地から1,400mの自宅で被爆。迫る火の中で母親を助けることができなかった体験を持つ▼広島大学大学院理学研究科博士課程修了。広島大学理学部助手、名古屋大学理学部助教授・教授を経て1995名古屋大学名誉教授▼著作に『核兵器はいらない!知っておきたい基礎知識』、共著に『共同研究広島・長崎原爆被害の実相』、『素粒子の複合模型』など

主催

「原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会」結成準備会

住所:020-0845 盛岡市湯沢南1-2-11 高塚龍之気付takatuka@iwate-u.ac.jp

共催:日本科学者会議岩手支部